

随想やましろ

10月15日、「カフェ頼 3組あります。」

政道「恒例のバスツアー。さて当日の朝の集自場
天橋立、お伊勢さん、所、「今年で最後」から
して今年は淡路島までの
日帰り旅行、60人乗りの
バスを仕立てて行ってき
ました。この旅行の売り
は医師と看護師3人が一
緒に行くから何か起こっ
ても心配ない、みんなで
行きましょうという企画
です。そのお誘いのせい
か、年々参加者が増えま
す。「来年はもう行けな
い、今年で最後だから」
と、娘さん同伴の参加も



門阪 庄三

想像できないくらいの特
ンションの上がり方で
す。小学生の遠足に負け
ないおしゃべりがいつば
い。
さあ、出発。ベテラン

暮らしの中の「地域」旅行

バスガイドさんも例年と
同じBさん。馴染みとい
うものは良いものです。
参加者との呼吸が狂わな
い。旅行のタイムスケジ
ャリング、これが本当に楽
しそう。そして、そのリス
クを懸念し
て孫や家族へ
のお土産が自
慢になりま
す。「おばあ
ちゃん、淡路
島の周遊準備や現場力
がこのツアーを可能にし
てくれた。今日一日楽しか
った」が生活から奪われ
てしまおうと思っていま
す。ボランティアアスタツ
プの周到な準備や現場力
がこのツアーを可能にし
てくれた。今日一日楽しか
った。ブルはありませんで
した。さて、外から見たら少
しリスクのある日帰り旅
行かも知れません。



「人生楽しく」川島八千代
(サークル「つくし」)

ユール説明から道中の歴史。買って来た玉ねぎス
ト、そして明石海峡大橋。味わってみて」
の語りは、日本に誇りを
感じさせる鮮やかなもの
が、幸い事故などのトラ
ック院長